202２年5月第1週【5/6発行】　　小学生教材 　ピーターラビットの絵本の新訳出版・イングリッシュガーデンがオープン　　模範解答と指導の手引き

（１）Wordファイルの教材では、不必要と思われる問題のカット（削除）、本文や設問のアレンジ、差し替え、加筆修正は自由です。先生方が授業で使いやすいように、お好きなように加工して下さい。

（２）「この問題は簡単すぎる」「設問は日本語でなく英語にしてほしい（逆に難しいから英語でなく日本語にしてほしい）」というご意見をいただきますが、全ての先生方の要望に応えられず申し訳ありません。私の判断で、英語が良いと思った設問は英語に、日本語が良いと思った設問は日本語にしています。先生方の判断で言語は自由に変えて下さい。

（３）毎回、スペリングや文法ミスがないか、細心の注意を払っていますが、間違いに気付いたら、後からホームページに訂正版を出しています。申し訳ありません。もしスペルミスや文法ミスに気付いたら、教えていただけましたら助かりますが、お時間がなければ修正してそのまま授業でお使い下さい。

（４）全ての教材に、「この英文を暗唱しよう！」というページがあります。毎回、重要な文法や使える表現を含むキーセンテンス３～５文を選んでいます。これは「夢タン」などの参考書の著者として著名な木村達哉先生のセミナーで「英語は何度も音読して暗唱するのが上達の近道！」と教えていただいたことにより、8月から始めました。文を暗唱してから本文を読んでも、全文を読んでから仕上げに英文暗唱しても、どちらでも良いと思います。生徒さんの習熟度と状況に合わせて、やってみて下さい。

教材執筆にあたって参考にした記事・動画

<https://japannews.yomiuri.co.jp/culture/books/20211220-8104/>

<https://www.moshimoshi-nippon.jp/437234>

<https://re-how.net/all/1049814/>

<https://www.bbc.com/news/uk-england-cumbria-24625202>

低学年用ニュースプリント　レベル0のプリント

★アルファベットを、たどたどしく、やっと読めるようになった小学１～３年生や、アルファベットを全く読めなくても、

ニュースに少し興味があり、難しいものを読んで勉強したい、意欲のある子供達に用いると良いと思います。

★アルファベットを全く読めていなくて、暗唱して英文を読んでいる子もいますが、先生のマネをして上手に発音ができた

だけで、たくさん、ほめてあげてください。

★Q＆Aも、フルセンテンスで書けなくても、要点だけ書ければ、褒めてあげて下さい。（アルファベットを書くのがゆっくりで、

ひとつの文字書くのがやっと、という子供達もいると思います。）

★絵本やカードと違った語彙が増えるように、英語を読んだり書いたりする練習にしていただければ幸いです。

Q1 (He is a) boy.

Q2 (He is from) England.

Q3 cute, naughty（かわいい、いたずらっこ）

Q4 blue

Q5 He has three little sisters.

Q6～Q8　　高学年用ニュースプリントと同じ設問なので、そちらの模範解答をご覧ください。

模範解答　1ページ

Q1 Near Mt. Fuji.

Q2 the Lake District 湖水地方



参考ウェブサイト　<https://www.travel-zentech.jp/world/map/british/Lake_District.htm>

Q3　　spring, summer, autumn（fall）, winter

Q4 She loved to sketch animals there.

Q5 言葉のリズム

★自分のことを答えましょう。

Q6 ピーターラビットの絵本を読んだことがありますか？

Q7 ピーターラビットの映画を見たことがありますか？（映画でピーターラビットを知ったという子も最近は多いようです）

Q8　（解答例）I have Peter Rabbit mug cups. / I have a Peter Rabbit notebook. など

※ピーターラビットの絵本を読んだことがないけれど、ピーターラビットのマグカップや文房具を持っているという子も、

　何人かいるようです。

模範解答　2ページ

Q9　　Every character is unique.

Q10 ただの可愛い動物の世界でなく、物語の中に現実味がある。

指導の手引き

（１）芥川作家の川上未映子さんが、この春、ピーターラビットの絵本を翻訳されました。

彼女は「作品には社会の現実がシニカルに描かれている」と指摘しています。

【参考ニュース記事】

<https://www3.nhk.or.jp/news/html/20220330/k10013555041000.html>

というのは、（多くの先生がご存じだと思いますが・・・）

ピーターのお父さんは、肉のパイにされてしまいました。そのイラストが、絵本にも描かれています。

※生徒さん達への配布用プリントの2ページ目で、

「ビアトリクスの描いたキャラクター達」というウェブサイトを紹介しました。

そちらのウェブサイトもぜひチェックしてみて下さい。

なんと、ピーターのお父さんのところに、おいしそうなパイが描かれています！

これは一見、残酷に思えるかもしれませんが、私の塾の子供たちに絵本を読み聞かせしたところ、

意外にも、泣き出す子供達はいませんでした。

私が小2～4の生徒のクラスで、問題の肉のパイのページを読んだところ、

「ピーターのお父さんはパイにされてしまったから、ピーター、いたずらをしないように気を付けなくちゃ。

ママの言うことを聞かなきゃね」

と感想を言い、厳しい自然界の法則を素直に理解し、納得していました。

子供達は、私達が思うよりも大人なのだなぁ・・・と思った一コマでした。

「川上未映子さんが、ピーターラビットを新しく翻訳した」というニュースは、もっと詳しく書いたので、

来週5/13発行の中学生用教材で取り上げます。

（２）ピーターラビット　こぼれ話

<https://www.bbc.com/news/uk-england-cumbria-24625202>

↑こちらのBBCの記事（少し古いですが2013年のものです）を読むと、イギリスの湖水地方の人達は、

「どうしてピーターラビットは、日本人観光客にこんなに人気があるのかしら？」

「どうしてピーターラビットのキーホルダーをお土産に買っていく日本人が、こんなに多いのかしら？？」

と、不思議に思っているようです。（そしてこの記事は、「日本人観光客はみんな礼儀正しい」と、褒めていました）

ピーターラビットが日本で大人気な理由として

「日本では、うさぎが人気のある動物だからでは？」

「日本では、中学校や高校の英語の教科書にピーターラビットが出てくるので、知名度が高いのでは？」

などが挙げられていました。

私はこの記事を読んで、一つの疑問を持ちました。

「もしかしてピーターラビットは、日本だけで人気で、他の国ではそれほど有名ではないのかしら・・・？」

※『赤毛のアン』、『モモ』（ミヒャエル・エンデ）、『星の王子様』なども、日本で特に売れていると聞きます。

（同じミヒャエル・エンデの『果てしない物語』は世界的に人気だそうですが、『モモ』は日本で特に売れていると聞きました。

サンテグジュペリの『星の王子様』も同様で、海外では『夜間飛行』の方が読まれていて、『星の王子様』の知名度は低い、と複数の海外の友人に聞きました）

そこで、ゴールデンウィーク中にランチしたアメリカ人の友人（横浜市内の小学校で、英語の教諭をしています）に、

“Is Peter Rabbit popular only in Japan?”と、私の疑問をぶつけてみました。

すると、シカゴ生まれシカゴ育ちの友人は “Oh, no!!”　とビックリ。

“I was brought up with Peter Rabbit books!! I love the stories!!”

と彼は言っていました。（ちなみに、彼は30代の男性です）

友人によると、シカゴの子供達もピーターラビットの絵本が大好きだったそうです。これを聞いて、安心しました。
他の国ではどうなのでしょうか？（他の国の友人にも聞いてみたいと思います）

先生方、もしご存じでしたら、教えて下さい。

※私は子供の頃、香港に住んでいましたが、香港の本屋さんで母がピーターラビットの絵本を買ってくれました。

当時の香港はイギリスの植民地だったので、イギリスの絵本がたくさん置いてあったのかもしれません。